

あんじょう 市議会だより

第32号

平成29年11月1日(2017年)

9月定例会

主な内容

- 2頁 平成28年度決算を認定
- 6頁 主な議案と審議、委員会などの主な活動状況
- 7頁 議案などの審議結果
- 8頁 一般質問のあらまし
- 14頁 行政調査報告
- 16頁 市議会公式ホームページのリニューアル
議場コンサートの開催
12月定例会の開催 ほか

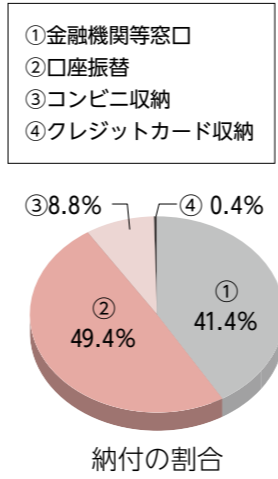
平成28年度決算を認定 一般会計の実質収支は、30億円余の黒字

9月1日から25日までの本定例会では、平成28年度決算について集中審議を行いました。
議案質疑・委員会審査における主な質問などを掲載します。
なお、金額は決算額です。

総務企画関連

■納税管理事務／1701万円余

問 ①金融機関等窓口②口座振替③コンビニ収納④クレジットカード収納の、納税金額ベースにおける納付割合はどれくらいか。また、その割合の経年変化はあるか。
答 納付割合は左表のとおり。割合の経年変化については、コ



ンビニでの納付割合が毎年増加しており、これに応じて金融機関窓口、口座振替での納付割合は減ってきている。

問 督促状発送件数が年々減少しているがその要因は何か。また、今後①～④の納付方法の割合の変化は。
答 コンビニ収納、クレジットカード収納といった納税者の利便性の向上が減少した要因の一つと考えられている。

曜日、時間を気にせず、納付できるコンビニ収納や、昨年度から開始したクレジットカード収納は、自宅のパソコンやスマートフォンで支払手続ができるため、利用者がより増えると予想している。

■セキュリティ対策事業／9346万円余

問 対策費が約8700万円増である。主な要因の、情報セキュリティ強化対策(強靱化)に約800

答 以前は収納員による訪問催告を積極的に行っていたが、他市における徴収時の着服等の不祥事を機に、文書催告に移行したため。

問 愛知県西三河地方税滞納整理機構に引継ぐ人数は、市が決定しているのか。また、機構の対応が親身でないとの指摘があるが、指導すべきではないか。
答 引き継ぐ人数は、機構が決定している。引継ぎ対象者は、長年滞納が解消されない方であり、機構への引継ぎ予告を行うときに、滞納処分を前提に行う旨の通知をしている。それでも滞納が解消されない場合、財産調査を行い、調査結果を基に処分を行うこととなるが、具体的な対処は機構の方針を尊重するため、市が指導を行うことは難しいと考える。

経済福祉関連

■観光協会支援事業／1690万円

問 観光協会が作成したPRツールの活用状況と効果は。
答 ガイドマップを英語、韓国語、中国語の簡体語、中国語の繁体語、

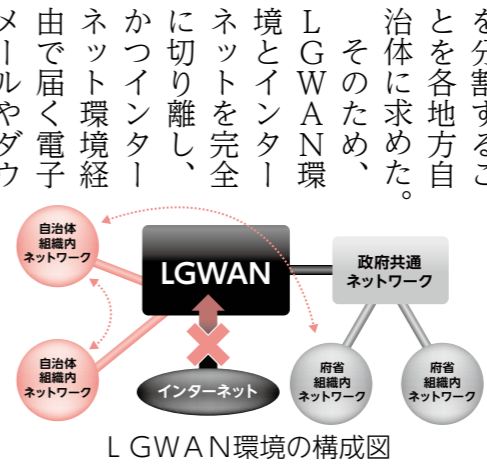


■滞納整理事業／820万円余
問 滞納者への催告について、文書催告が増え、訪問催告が減った要因は。

答 提出件数減の要因は二つある。一つは、提案募集の目標を提出件数から提出率の増加を目指し、「二人一提案」に変えたため。二つ目は、平成27年度の4テーマから、テーマ部門を3テーマに減らしたため。
最優秀賞の事例は、「児童手当支給の際に行うチェック方法」であり、従来、全ての対象者をチェックしていた方法を、新システム移行時に、必要な人だけを絞り込むことで、確認作業を効率的に行うよう改善した。もの。繁忙期の時間外勤務は係全体で160時間、約55万円を削減した。

0万円の費用がかかっているが、事業の内容は。

答 個人情報、特にマイナンバーを含む特定個人情報の保護が、今まで以上に重要課題となってきたことを鑑み、総務省が、マイナンバーによる情報連携に活用されるLGWAN環境、そのセキュリティ確保に資するため、LGWAN接続系とインターネット接続系を分割することを各地方自治体に求めた。



そのための、LGWAN環境とインターネットを完全に切り離し、かつインターネット環境経由で届く電子メールやダウンロードしたファイルが無害化するシステムなどを備えた情報セキュリティ強化対策を実施した。
※LGWAN：総合行政ネットワークの英語略称。広域の行政専用コンピュータネットワーク。地方自治体のネットワークを相互に接続し、情報の共有、行政事務の効率化を目的とする。

やさしい日本語の5つの言語で、それぞれ3千部を作成した。

次に、グルメガイドを3万部作成し、約2万3千部を配布した。また、1000円分のサルビア商品券をプレゼントする、スタンプリーの要素を新たに加えるなど、できる限り長く、効果的に利用してもらうための工夫を行っている。「観光PR動画」については、合計で21作品応募があり、そのうち13作品を買取った。特に優秀な作品は、7月の愛知県市長会の海外事業において、現地のマスコミや、旅行会社等が多く集まる中で上映した。また、愛知県が旅行会社などと連携して行う大型の観光事業「愛知ディスプレイネーションキャンペーン」に提供するなど、情報発信を行っている。



ガイドマップ

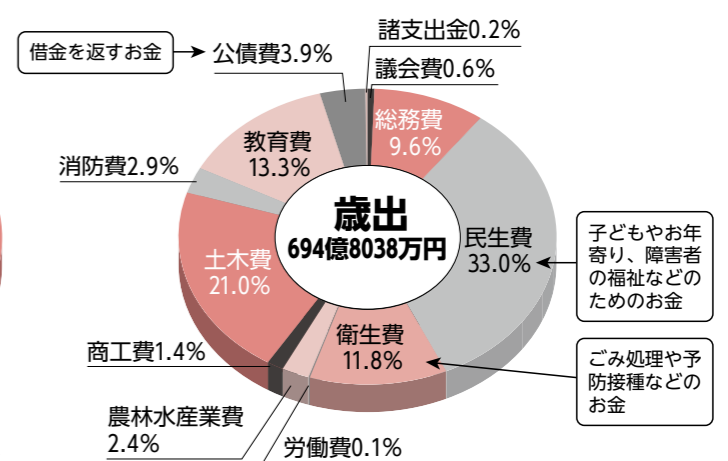
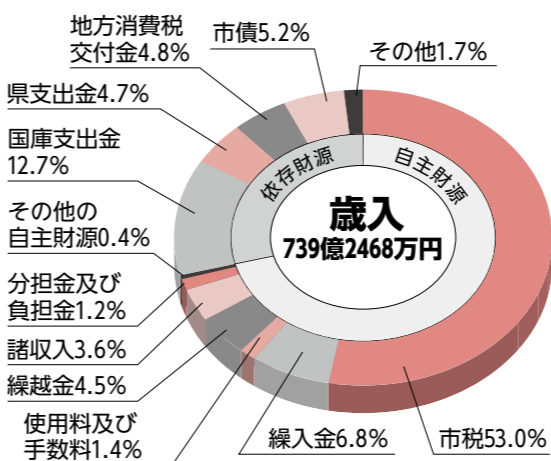
◆水道事業会計

区分	収入	支出
収益的収支 ※経営活動により発生する収支	33億9363万円	27億9850万円
資本的収支 ※施設を建設・整備するための収支	3億4649万円	11億6943万円

会計名(事業)	歳入	歳出
国民健康保険	177億2543万円	165億8976万円
土地取得	86万円	20万円
有料駐車場	3億2552万円	2億1996万円
下水道	42億1205万円	42億1181万円
農業集落排水	6057万円	6057万円
安城桜井駅周辺特定土地区画整理	24億7527万円	24億2859万円
介護保険	90億4842万円	87億2355万円
後期高齢者医療	18億5280万円	18億4630万円

一般会計……行政の基本的な経費を市税などを主な財源として経理する会計

特別会計……事業目的を限定し、特定の歳入を特定の支出に充てて経理する会計



平成28年度一般会計決算

■児童クラブ事業／3億2160万円余

問 受け入れを4年生まで拡大し、4年生の受け入れ実績は56名となっているが、全児童クラブで受け入れできたのか。また、公立のクラブ数が43と、10クラブ増加した。支援員や補助員の人材確保が厳しい状況だが、平成27年度と平成28年度の支援員及び補助員の人数は。

答 4年生の受け入れは、全ての児童クラブにおいて受け入れできた。

また、支援員や補助員の確保は、大変厳しい状況であるが、運営に支障がきたさぬよう確保に努めた。実績として、平成27年度が178人、平成28年度が199人で21人増加している。また、夏休み、冬休み期間の対応で雇用したアルバイトが、平成27年度は101人、平成28年度は117人で16人増加した。

■ごみ減量化推進事業／8655万円余

問 1人1日当たりのごみの排出量は、基準年である平成17年度の87gに対し、平成28年度は69.3gで、削減率20.59%となっている。平成28年度の「家庭ごみ」と

「事業ごみ」の内訳は。

答 「家庭ごみ」は49.9g、「事業ごみ」は202.3g。また、削減率は、「家庭ごみ」16.8%、「事業ごみ」28.5%である。



■消費相談事業／313万円余

問 相談件数47件の相談内容の内訳は。

答 市民生活を取り巻く「消費環境」の多様化に伴い、相談内容も非常に多岐にわたるが、中でも、相談件数の多い上位3項目として、金融・保険に関する相談が74件、通信・インターネットに関する相談が73件、生活・住居に関する相談が48件であった。

市民文教関連

■南吉まちづくり推進事業／660万円余

問 商店街等壁画・描画事業として、27万円が使われている。これまで何件の壁画が商店街に描かれたか、また、今後の予定は。

答 壁画描画は、平成23年度から28年度までに、34作品が描かれた。

■衣浦東部広域消防常備消防事務／16億7693万円余

問 事業決算額が、前年度と比べ1億6000万円増えているが、その内容は。

答 高機能消防指令センターシステムの更新のほか、知立消防署はしご付き消防自動車の更新による車両購入費、高浜消防署改修工事が増額したことなどによる。

共通経費において、高機能消防指令センター更新の平成28年度の負担額で約2億円増、車両購入費が1億1800万円余増、工事請負費が9300万円余増など、共通経費の合計で約4億5400万円が増額し、その32.7%の約1億4900万円が本市の増額分となっている。

建設関連

■建築指導事務／422万円余

問 問題のある空き家が16件とあるが、具体的にはどのような状況が問題のある空き家か。また、問題のない空き家とは何か。

答 問題がある・ないの分類は、屋根・外壁などの倒壊の恐れ、匂い・敷地内のゴミなどの衛生面、

この事業は、アンフォーレオープンと通称「南吉ストリート」の完成に合わせ、28年度をもって事業終了とした。

問 南吉まちづくりの一環として、市役所前の立体駐車場付近には、新美南吉をモチーフとしたマンホールがあるが、設置数と今後の展開は。

答 新美南吉の「花のき村と盗人たち」をモチーフにしたマンホール蓋の設置は、下水道矢作川処理区の中の安城南明治土地区画整理事業区域内に約70か所設置している。今後も同区域内のマンホールには設置していくが、区域外への展開は予定していない。



「花のき村と盗人たち」をモチーフにしたマンホール

■防災一般事業／1億4388万円余

問 平成28年度のマルチコプター



マルチコプター

■住宅耐震診断補助事業／385万円余

問 緊急輸送道路沿線建築物のうち耐震診断の対象建築物が73件となっているが、この選定基準は。

答 平成27年度の現況調査業務では「建築物の耐震改修の促進に関する法律施行令」に基づく方法により調査を行っている。地震により倒壊した場合、緊急輸送道路の機能を阻害する恐れのある建築物のうち、昭和56年5月31日以前に着工したものについては、通行障害既存耐震不適格建築物の可能性があるとということで、それに該当する73件を対象建築物としている。

問 相談件数が8件とあるが、実際に耐震診断に至ったケースはあ

るのか。
答 診断の申し出意思があるものが7件あったが、診断の実施を行ったものはなかった。今年度になり、そのうちの4件から耐震診断の補助申請があり、1件は交付決定済みで、残りの3件は申請内容を審査中である。



9月定例会 議案などの審議結果			会派別賛否(○賛成、×反対)					
9月定例会に提出された案件			安城創生会	志	みらいの風	公明党	共産党	新社会
認定	第1号	平成28年度一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	×	×
	第2号	平成28年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	×	×
	第3号	平成28年度土地取得特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○
	第4号	平成28年度有料駐車場事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○
	第5号	平成28年度下水道事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○
	第6号	平成28年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○
	第7号	平成28年度安城井駅周辺特定土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○
	第8号	平成28年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	×	×
	第9号	平成28年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	×	×
	第10号	平成28年度水道事業会計決算	○	○	○	○	○	○
市長提出議案	第68号	福祉センターの設置及び管理に関する条例及び老人デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	×	×
	第69号	市の附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○
	第70号	市営住宅の設置及び管理に関する条例及びコミュニティ住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○
	第71号	都市公園条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○
	第72号	平成29年度一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○
	第73号	平成29年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○
	第74号	平成29年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○
	第75号	工事請負契約の締結(和泉保育園建設主体工事)	○	○	○	○	○	○
	第76号	工事請負契約の締結(文化センター大規模改修主体工事)	○	○	○	○	○	○
	第77号	工事請負契約の締結(文化センター大規模改修電気工事)	○	○	○	○	○	○
	第78号	工事請負契約の締結(文化センター大規模改修空調工事)	○	○	○	○	○	○
	第79号	工事請負契約の締結(文化センター舞台吊物設備改修工事)	○	○	○	○	○	○
	第80号	財産の取得(中学校のコンピュータ教室用備品の更新)	○	○	○	○	○	○
第81号	平成28年度下水道事業剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	
同意	第6号	固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○
	第7号	教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○
請願	第1号	安城市民の水を守る水源涵養林の保全を求める請願	○	○	○	○	○	○
	第2号	用途地域に関する陳情	×	×	×	×	○	○
陳情	第3号	私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情	×	×	×	×	○	○
	第4号	国の私学助成の増額と拡充に関する意見書	○	○	○	○	○	○
議員提出議案	第5号	愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書	○	○	○	○	○	○
	第6号	道路整備予算の確保及び道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続に関する意見書	○	○	○	○	○	○
	第7号	議員の派遣	○	○	○	○	×	○

※議案名と会派名は、一部省略して記載しています。(公明党⇒公明党安城市議団、共産党⇒日本共産党安城市議員団)

主な議案と審議

市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定

問 安城南明治市有地有効活用事業を選定審議会が設置されるといふことだが、委員構成で学識経験者には、都市計画、建築設計を専門とする大学教授を3名予定されている。本市が課題解消に取り組む安城版総合戦略に資する専門的見地も期待したいが、どうか。また今後、安城南明治土地区画整理地区内において、都市計画道路沿いに同じように市有地を集約する可能性はあるか。

答 本市の総合戦略のほか、総合計画及び都市計画マスタープランなど市の上位計画を学識経験者に渡して、当該審議会において募集要項の内容を検討する。できれば同様な事業経験のある方やまちづくり精通した方の選任を考えている。

事業促進のために用地買収すること都市計画道路沿いに市有地

平成29年度9月補正予算

● 一般会計5億5135万円余を追加
 ● 繰越明許費4175万円を追加
 ● 債務負担行為200万円を追加
 ● 内容：東海道新幹線三河安城駅開業30周年記念事業

問 記念事業の目的、内容は。

答 目的は、三河安城地区のまちづくりにおいて、企業、市民、行政が協力して進めるためのヒントとなるような機会を提供することであり、講演会等の開催を考えているが、詳細の内容については、今後検討していく。

同意案件など

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

9月30日で任期満了となる長坂敬子氏の後任に、同氏を選任することに同意した。

教育委員会委員の任命に同意

9月30日で任期満了となる鳥居恵子氏の後任に、伊奈希氏を任命することに同意した。

意見書を議決

9月25日、次の意見を国の関係機関又は県に提出することを決めた。

- 「国の私学助成の増額と拡充に関する意見書」
- 「愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書」
- 「道路整備予算の確保及び道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続に関する意見書」

姉妹都市派遣報告会を開催

9月20日に、姉妹都市提携35周年を迎えた、姉妹都市のハンチントンビーチ市(米国)を訪問した二村副議長が、議会に派遣及び調査内容の報告を行いました。

議長をはじめ、多くの議員が、派遣先



報告会の様子

委員会部会などの主な活動状況

8月		9月	
7日	まちづくり特別委員会	7日	決算特別委員会
25日	議会運営委員会・議会改革検討委員会	11日	建設常任委員会・決算分科会・部会・シティプロモーション・交流人口拡大特別委員会
		12日	市民文教常任委員会・決算分科会
		13日	経済福祉常任委員会・決算分科会
		14日	総務企画常任委員会・決算分科会・部会
		20日	決算特別委員会・議会運営委員会・議会改革検討委員会

での交流の様子とともに、本市の将来を展望した海外都市における、地方自治の実態や行政施策の実情について熱心に耳を傾けていました。

一般質問のあらまし

11人の議員が46項目の一般質問を行いました。各議員の主な質問と答弁の要旨を掲載しています。なお、未掲載の質問などは、会議録や録画映像でご覧いただけます。

代表質問や一般質問は、ライブ中継を実施しています。日程については16ページをご覧ください。

市議会のウェブサイト⇒



スマートフォンやタブレット端末から
各議員の代表質問や一般質問の録画映像をご覧いただけます。

【映像配信】



【会議録】



QRコードを読み取って
ご覧ください。
※パケット・通信料が
かかります。

公共施設等総合管理計画について



問 公共施設等総合管理計画の計画期間は、今年から40年間と長期にわたり事後保全型管理から、予防保全型管理に移行するとしているが、点検調査項目が同じような施設は、専門家による包括的業務委託が効果的効率的だと思いが市の考えは。

答 この業務委託の考え方については、近隣市での導入はなく、全国での実績も限られている状況なので、今後、国、県や他市の動向を注視するとともに、調査研究していく。

多文化共生について

問 今年度より日本語初期指導教室に取り組んでいるが、現状と課題は。

答 現状としては6月中旬から祥南小学校で実施し、小学生13人、中学生3人が通っている。

課題は、学区外からの登下校の方法や、昼食は弁当を持参しな



ければならないこと、また、通室する児童生徒の数が予測できないことが挙げられる。また、今後の人数増加に対応できるように、更なる運営体制の拡充も考えていく。

問 古井住宅で6月から始まった放課後学習支援教室の課題は。

答 外国人の保護者の多くは「学校とは、別の当教室に通わなくても大丈夫」と認識しており、どのようにして日本語支援を実りあるものにしていくかが課題である。今後も、放課後学習支援教室の運営に対し、国際交流協会を通して、支援していく。

矢作川水源の森の保全を



安城創生会
おおよあきひと
大屋明仁議員

問 矢作川水源の森を保全するための今後の取り組みは。

答 平成3年から平成33年度末までの契約で、根羽村と共同で分収育林事業を行っている。この事業は、矢作川上流地域の水資源の涵養、森林資源保護、育成を目的に、対象樹木を本市と根羽村の双方が2分の1ずつ共有し、その間の費用負担や収益配分も均等とするものである。



矢作川水源の森

契約が切れる平成34年度以降については、水源涵養林の整備及び保全を目的とした事業として継続できないものか検討していきたい。

小川揚水機場跡地の公園整備の推進を

問 今年7月に地元町内会で、小

川揚水機場跡地における公園のレイアウト等を話し合うワークショップが開催されたが、今後の整備スケジュールは。

答 平成30年度には公園整備工事に着手したいが、この跡地整備は、県の補助金を活用した事業であり、スケジュールについては、補助金の割り当て次第で大きく変動する可能性がある。遊歩道は、公園整備と一体施工が望ましく、あわせて整備していく予定である。



小川揚水機跡地

◆その他の質問：市の医療提供体制、国保の県単位化、防犯・交通安全、名鉄南桜井駅周辺の交通対策、副市長の体制について

受動喫煙対策について



みらいの風
つじやまひでふみ
辻山秀文議員

問 JR安城駅前デッキに設置されている喫煙所は、風の向きによつて、高校生が多く利用する階段付近にまで煙が流れてしまう。喫煙所をパーテーションで高く囲いタバコの煙を上に移すか、喫煙所を別の場所へ移設するなどの対策が必要と考えるが市の見解は。

問 少子化の影響で子ども用紙おむつの消費量は下がっているが、高齢化に伴い大人用紙おむつの消費量は増加し、使用済みの紙おむつのほとんどは、焼却処理されている。



答 喫煙所のタバコの煙を上に逃がすため、パーテーション等で高く囲むことについては、喫煙所の位置が恒久的な場所ではないと考えており、設置する予定はない。

答 一部の自治体において、使用済み紙おむつの分別回収やリサイクルへの取り組みが行われている。これらの取り組みについては、民間企業の高い技術力が求められることから、今後の動向を注視しながら、成果や課題等の情報収集に努めたい。



JR安城駅の喫煙所

小中学校普通教室へのエアコン設置について



志
しらやまつみ
白山松美議員

問 平成29年4月1日現在、普通教室のエアコン設置率は、愛知県が平成30年末で100%となっている。子供たちの学習環境改善、及び時代のすう勢からもエアコン設置を検討すべきではないか。

答 普通教室の数は、小中学校合わせて603教室ある。今後は、エアコンの設置費用や室外機の設置位置などの課題を整理する必要がある、近隣市等の動向も注視しながら研究していく。



犬のふん害について



志
しらやまつみ
白山松美議員

問 『ポイ捨て及びふん害の防止に関する条例』第6条に『飼い主は市の施策に協力しなければならぬ』とあるが、市民への条例告知の徹底と対策はどうするのか。

答 犬のふん防止看板の内容を見直し、犬のふん害が目立つ地域においては、注意喚起のキャンペーンを行い、身勝手は許されないということが伝わるよう啓発の方策を検討する。



◆その他の質問：市民憲章について、市の公式ウェブサイトへの市長の書き込みについて、市民の声（市長への疑問）について

名鉄新城駅の橋上化について



日本共産党
安城市議員団
みやがわかねひこ
宮川金彦議員

問 名鉄新城駅の橋上化について、市は事業費の95%（30億円余）もの多額の費用負担を決めた。

しかし、駅舎やホームなどは、名古屋鉄道(株)の財産であるので、同社が負担すべきではないか。しかも、同社の2016年度の経常利益は、46億円で過去最高となっている。この事業に多額の税金投入を決めた理由は。

答 名古屋鉄道(株)との10年に及ぶ交渉から、駅を自ら改築する計画がないことが分かり、市が費用負担しない限り、橋上化事業は実施できないことが明らかになった。今後も平行線の交渉を続けるのか、多額の負担をしてでも事業を実施するのかという選択に迫られた。

名鉄新城駅は、市の北の玄関口であり北部地域発展のためにも、事業実施を選択すべきと判断した。

南明治第三土地区画整理事業について



日本共産党
安城市議員団
みやがわかねひこ
宮川金彦議員

問 市は昨年度、第三地区の勉強会、車座集会を3回開催したが、一度も参加していない権利者が73%もいるなか、整備方針を決めた。

土地区画整理事業は、権利者に土地の削減やお金の負担を求めるものであり、説明が不十分ではないか。

答 勉強会等に不参加の権利者には、個別訪問での説明やマンションの総会での説明を行っている。今後は、想定換地を行うなかで、権利者の意見を伺う予定である。



勉強会の様子

「ひかり号」の停車について

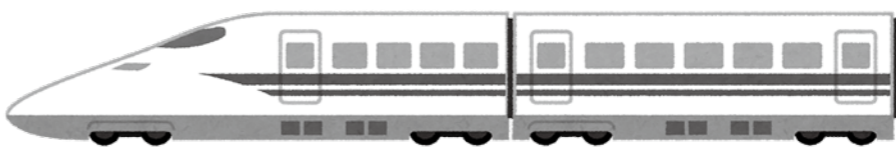


安城創生会
すずき ひろし
鈴木 浩 議員

問 新幹線三河安城駅にひかり号停車を実現させるため、商工会議所が中心になって運動を行っているが、市全体の気運はまだ高まっていない。駅周辺の9市1町の人口は昨年の数値で16万8千人余である。駅周辺の発展のためにも今後ひかり号停車は必要と考えるが。

答 新幹線三河安城駅へのひかり号停車の要望は、商工会議所が中心となり、100近い団体や個人から賛同を得ており、今年度中にJR東海への要望活動を予定している。

市としても官民一体でこの活動を、積極的に市民にアピールし、盛り上げていきたいと考えている。



防災ベッドの補助について



安城創生会
すずき ひろし
鈴木 浩 議員

問 阪神淡路大震災で亡くなられた方の84%は家屋の倒壊による圧死であった。安価で信頼できる防災ベッドが他の自治体では、助成対象となっているが、本市は、防災ベッドの補助は行っていない。本市において、耐震改修が進まない現状と防災ベッドの普及についての考えは。

答 耐震改修が進まない理由として、耐震改修工事の費用負担が大きいこと、高齢者世帯の増加による意欲の低下などが挙げられる。こうしたことから、工事費も安価で工事期間も短期間で済む防災ベッドの設置補助については、高齢者世帯などに対し、有効な施策であると考えられるので、検討していきたい。

◆その他の質問：消防団員について、水害対策について



名鉄新城駅周辺のまちづくりについて



安城創生会
の ぼよしのり
野場慶徳議員

問 ①駅橋上化事業の状況と北口新駅ビル建設について
②あんくるバスの豊田市・知立市への乗り入れと、志貴地区からの名鉄新城駅、八千代病院へ直接、乗り入れることはできないか。

答 ①新駅ビルの建設は数年後となる。その後の具体的な構想は、直前まで決まらなないと聞いているが、地元から物販機能を望む声が多いという事は伝えている。
②豊田市や知立市への乗り入れは、ルートの延長による定時制の確保や便数の問題、各市との調整等、多くの課題があり、考えていない。志貴地区からの名鉄新城駅、八千代病院へ直接、乗り入れることについては、ルート

は、ルート



名鉄新城駅ロータリー

アンフォーレの駐輪場・駐車場について

問 ①駐輪場の屋根設置と駐輪台数の増設はできないか。
②アンフォーレ利用時の立体駐車場2時間無料サービスを3時間にできないか。

答 ①多くの利用者から、屋根の設置を望む声がある。また、自転車駐輪場からあふれる状況も見受けられるので、状況を調査し、改善方針を出したい。
②事業者募集の際に、2時間無料サービス実施を条件に収支計画を提案した経緯や、JR安城駅から徒歩5分と近く、2時間を超過する無料サービスを実施した場合、アンフォーレ利用のない無料サービスが発生する可能性もあり、時間延長の予定はない。

時間延長の予定はない。

同報無線の設置について



日本共産党
安城市議員団
ふか ゆけい
深谷恵子議員

問 今年は、過去の記録を更新するような集中豪雨、地震が全国各地で相次いで発生しており、災害情報を迅速に、的確に伝達する立場から、これまでに2回同報無線の設置を提案してきた。

答 同報系を整備しているのは県下54市町村中、35市町村であり、本市は未整備となっている。防災ラジオの普及促進も大切だが、屋外にいる人への伝達方法は不十分である。消防庁も有効性を強調しているが。

問 本市では、同報系防災行政無線の戸別受信機の代替となるFM波を利用した防災ラジオの普及促進に取り組み、同報無線の導入は現在のところ考えていない。



あんジョイプランの進捗状況について

問 2015年から2017年の進捗状況で、例えば、介護保険利用者負担軽減事業は、世帯全員が市民税非課税生計同一者の収入合計が103万円以下の人に対し10%の利用料を5%に軽減するものである。目標が20人にに対し、実績が9人と少ないが周知の方法は。

答 介護認定結果通知の際に、制度チラシを同封、全介護保険事業者連絡調整会議、ケアマネジャー会議、広報掲載などを行い、周知している。

◆他の質問：婚姻歴のないひとり親家庭への寡婦(夫)控除のみなし適用について



あんくるバスについて



新社会
いしかわ つばさ
石川 翼 議員

問 あんくるバスは、近年、5年刻みで運行ルートの改正を行ってきた。前回の改正から、今年で3年になるが、2年後の2019年(平成31年)には運行ルートの改正を行うのか。

答 平成26年の改正では、鉄道やバスなど、公共交通の役割を整理し、バス利用者や地域の意見を聴き、ほぼ完成形となるよう、大規模な見直しを行っており、その後、利用者が年々増加していることから、しばらくは大規模な見直しは考えていない。



あんくるバス

水道事業に係る市民アンケート調査について

問 水道事業に係る市民アンケートで、水道水の品質を良くすることや、老朽化した水道管や浄水場等の更新について、「取り組むべき」と考えるが、水道料金への影響をできるだけ抑えるよう、時期は多少遅れてもかまわない。」との意見が多かった。この結果を踏まえ、水道料金は当面引き上げるべきでないと考えているが、市の認識は。

答 歳入歳出に大きな影響を与える事態が多発せず、計画した施設整備等の財源が確保できれば、当面は水道料金引き上げの必要はないものと考えている。



妊娠・出産後の支援について



安城創生会
まつもと かえり
松本佳栄議員

問 本市が10月から本格始動される母子への祝福と歓迎の意を表した新たなサービス「お誕生記念」ことから健康事業」についての具体的な内容は。

答 この事業は、毎年度4月1日生まれ以降の子どもを対象としており、全員サービスと3つの選択サービスを設けている。

全員サービスの「新生児聴覚検査」は、5000円を上限として検査費用を助成している。

選択サービスは子ども1人に対し、1枚4000円分の利用券2枚を4か月児健診で交付している。

3つの内容としては、母と子の口の中の診察などを「お口のリフレッシュケア」、委託業者が提供する運動やランチなどが楽しめる「こころとからだのリフレッシュ」、乳房



JR三河安城駅北部地区の今後のまちづくりについて



安城創生会
おがわ こうじろう
小川浩二郎議員

問 みらい創造研究所が27年度に取り組んだ研究によれば、JR三河安城駅・JR安城駅・名鉄新安城駅に囲まれた、三角形の地域を将来的に市の中心部と捉え、早急に開発を検討すべきとしている。

答 この三駅に囲まれたJR三河安城駅北部地区の地域開発を、将来的にどのようか考えているか。

第2次都市計画マスタープランにおいて、JR三河安城駅北部地区はまとまった農地が残っており、「都市の中庭」として農地保全の必要があるとしているが、当面は、JR三河安城駅南地区での都市整備を優先し、その後、将来人口など見据えたうえで、三駅に囲まれたJR三河安城駅北部地区の地域開発のあり方について研究課題としていきたい。



三河安城駅北部地区の風景

ケアや授乳方法への助言が受けられる「産後応援ケア」を用意し、母子のこころとからだの健康づくりを支援していく。

認知症等の高齢者支援について

問 高齢化の進展に伴い、認知症高齢者の徘徊による行方不明事案が発生している。早期発見するための「見つけるつながるネットワーク」の運営状況と近隣市との連携体制は。

答 「見つけるつながるネットワーク」にあらかじめ登録をすることで、素早い行方不明者情報の発信が可能となる。近隣市との連携体制についても、必要に応じて、それぞれの自治体の担当部署に情報提供を行い、早期発見のための連携を図っている。



今後の農業について

問 本市の特産果樹といえば、梨とイチジクである。

イチジクについては、イチジクスクールを開講し、産地の維持・拡大や新規栽培農家を育成しているが、梨については、栽培が難しく、生産者の高齢化と後継者不足により、存続が難しい状況になっている。

そこで、意欲のある農業者や人材を確保し、多角的で効率的な経営体である法人化へ誘導し、農業を維持・活性化する事が重要ではないか。

答 法人化は、農業者の所得向上や労働環境の改善、経営の円滑な継承、新規就農者の受け皿づくりの面で、重要と認識している。

今後、県やJAなどの関係機関と連携し、調査研究する。



総務企画常任委員会

《7月5日～7日》

栃木県佐野市

『総合庁舎建設について』

市町村合併や東日本大震災で大きな損壊を受けたことを契機として建替えを行った。市民ニーズを意識し、多目的に利用できる交流スペースの設置や、子どもたちの建設に対する参画意識の高揚を図るためのワークショップを実施するなど、市民の地域愛を醸成することで、単なる執務機能としての市役所だけでなく、市民も利用しやすい建物として受け入れられていると感じた。本市も中長期的な展望で検討し、基金の積立計画や建設工事計画を策定していくことが大事な活動の一つと考える。



佐野市視察の様子

青森県弘前市

『ARを用いた観光アプリについて』

※AR (Augmented Reality)とは：拡張現実と訳される。現実の世界の一部に、CG等で作った仮想世界を反映させる技術。例：ポケモンGO)

弘前城の本丸石垣修復工事に伴い、天守が一時移設されたために、ARアプリを使い、バーチャルの天守を再現することにより観光の目玉を失うピンチを乗り越えた。ARアプリを使用すれば、季節を問わずに、いつでも風景を映し出すことができる。本市も「安城ARナビ」があるが、ダウンロード数は僅かなため、今回の調査を参考に今後研究していく必要があると感じた。

群馬県高崎市

『ふるさと納税について』

高崎市はふるさと納税により集められた寄附金を、地元オーケストラや企業スポーツチームへの活動支援に充てており、文化・スポーツ振興を図っている。これは、本市でも取り組むことができる事例と感じた。返礼品には、地域産業や文化をPRできる利点があり、

シタイププロモーションの立場で考えれば効果は大きい。財政面を考えた場合、この制度には様々な課題や問題点があると感じた。

市民文教常任委員会

《7月5日～7日》

岩手県滝沢市

『総合型地域スポーツクラブについて』

総合型地域スポーツクラブとは幅広い世代が各自の興味や関心・競技レベルに合わせて様々なスポーツに触れる機会を提供する地域密着型のスポーツクラブである。滝沢市の「チャグチャグスポーツクラブ」は、体育協会の高齢化への対応と優れた選手の発掘という2点を課題及び目標としている。また、中学校の部活と連携しており、顧問の長時間勤務の解消にもつながっている事など本市としても参考にしていきたい。

福島県郡山市

『セーフコミュニティについて』

セーフコミュニティとは、地域の実情をデータを用いて客観的に評価し、地域住民、行政などが力

経済福祉常任委員会

《7月19日～21日》

大阪府堺市

『発達障害支援センター「アプリコット堺」について』

同センターでは、発達障害児(者)とその家族からの相談に応じ、指導・助言を行うために、保健、医療、福祉、教育、労働などの関係機関とネットワークが構築されている。

本市は、政令指定都市ではないため、センターの設置義務はないが、縦割り型の窓口ではなく、横へつながらネットワークの入り口としての相談窓口業務は参考になった。

福岡県福岡市

『水素リリーダー都市プロジェクトについて』

中部水処理センターでは、汚水処理と雨水の排除を主事業として、汚水処理の過程で発生するガスを精製したメタンガスを原料に水素を製造している。1日あたり水素3,300m(燃料電池自動車約65台分の燃料)を製造している。また、下水処理水をさらに高度処

理し、トイレの洗浄水、樹木の散水用として再生水を活用している。下水の処理から始まり、再生水、バイオマス発電、水素、と事業展開に無駄はないか、この先には何ができるのか、そういった視点を維持しながら進める姿勢は参考になった。



福岡市視察の様子

福岡県北九州市

『ウーマンワークカフェ北九州の取り組みについて』

このカフェは、女性の就業、キャリアアップ、創業、子育てに関する「国・県・市によるワンストップ女性総合施設」であり、国と県の窓口も施設内にあるため、初期相談窓口から総合窓口までトータルサポートを受けられる。相談者や、対応する職員も女性なので、同性ならではの親身な相談ができ、相談者にとっては来所しやすい環境であると感じた。

本市でも、部署にかかわらず細かい配慮のできる女性目線での業務遂行を心掛けてほしいと感じた。

建設常任委員会

《7月19日～21日》

東京都調布市

『旧調布富士見町住宅地区 都市景観大賞について』

竣工後40年が経過したこの地区は、老朽化や公道による分断などの課題に対して、住民とワークショップにより解決を図った。「街路全体を園庭化し、建物との一体的風景をつくる」をテーマに建替えられ、平成28年度都市景観大賞を受賞した。民間主導で進めたが、本市でも課題になる事項であり、官・民・住民の連携は参考になった。

宮城県牡鹿郡女川町

『防災集団移転促進事業、被災市街地復興土地区画整理事業について』

山を切り開き、盛り土にて3段階の高さを設け、住宅を高台に移し再建中で、早期に復興が進んでいる。中心地区を先行して整理事業を行い、コンパクトなまちづくりを行っている。



女川町視察の様子

山を切り開き、盛り土にて3段階の高さを設け、住宅を高台に移し再建中で、早期に復興が進んでいる。中心地区を先行して整理事業を行い、コンパクトなまちづくりを行っている。

を合わせて「安心して生活できる安全なまちづくり」に取り組み共通の関心を持った集まりをいう。

郡山市では地域活動団体、警察など広範囲からデータを収集することで各所との連携がより深まったことにより、市民や地元企業などが行う活動から見えてくる課題解決に繋がっているように感じた。今後は、本市も各団体、組織が連携して事業に取り組むことを考えていきたい。

埼玉県川越市

『文化財の耐震化について』

視察した「時の鐘」は約400年前に建てられた後、大火により何度も焼失したが、再建され現在に至っている。文化庁の補助事業での対象となったことから時の鐘耐震化事業を実施した。後世に残す必要性を感じる一方、他の指定建造物の今後など課題を感じた。本市にも川越市と同様の指定文化財があるが、あまり周知されていない。耐震化も高い、魅力を知らせ、まちの賑わいに繋げたい。



川越市視察の様子

る。観光・漁業関連産業も復興しつつあると感じた。

宮城県東松島市

『野蒜北部丘陵地区震災復興事業について』

UR都市機構と市民が連携し、復興を進めている。震災前から市民協働のまちづくりを進めていたこともあり、集団移転先の検討も地域の意見を行政に伝える仕組みができていた。移転先でも、新たに振興会を作る地域の絆の仕組みづくりは参考になった。

埼玉県越谷市

『大袋駅舎建設事業について』

事業費の約20億円のうち8500万円を鉄道会社が負担しており、国からの補助金は7億円である。駅には、エレベーターが2基、エスカレーターが2基、その他自由通路等があり、利用しやすい環境であった。また、地下通路も残っており、自転車の通行にも支障がないと感じた。

名鉄新安城駅は、橋上化で動き始めたが、将来的には高架化が理想であり、鉄道会社の意向も考慮しなければならぬが、高齢社会の鉄道は大きな財産と考える。

安城市初！議場コンサートを開催します

市民とつながる開かれた議会を目指す活動の一環として、議会を身近に感じていただけるよう、以下の日程で議場コンサートを開催します。

皆様お誘い合わせのうえ、ぜひ、お越しください。

日時 平成29年12月1日(金) 12月定例会開会日
午前9時15分～(30分程度)

入場料 無料

場所 安城市役所 北庁舎6階 議場

※詳細の内容については市議会公式ホームページに掲載します。



市議会公式ホームページが新しくなりました！

市民に分かりやすさ、見やすさを追求した市議会ホームページのリニューアルに向けて、議会ICT推進プロジェクトチームを中心に協議を重ね、「やるじゃん ANJO!」というキャッチコピーのもと、市議会に親しみを感じていただけるようなホームページを作成しました。

また、幅広い世代に市議会について関心を持ってもらうため、キッズページの新設と市議会活動のプロモーション映像を作成しました。ぜひ、新しくなった市議会公式ホームページをご覧ください。

安城市議会

検索



表紙の紹介

爽やかな秋風のもと、休耕地に咲く「コスモス」。東端町環境保全会のみなさんが植え始めて、10年目になります。差し込みの写真は、デンパークの『中秋のあかり祭』。竹あかりやペットボトルキャンドル等で園内が彩られました。

交通安全PR活動

9月22日(金)に市役所北庁舎玄関で「交通事故なし(梨)」キャンペーンを行いました。来庁者に安城特産の梨を配布し、交通事故防止を呼びかけました。



12月定例会の開催予定

12月 1日(金) 開会
4日(月) 一般質問
5日(火) 一般質問
6日(水) 一般質問予備日
7日(木) 議案質疑
11日(月) 建設常任委員会
12日(火) 市民文教常任委員会
13日(水) 経済福祉常任委員会
14日(木) 総務企画常任委員会
20日(水) 閉会

KATCH放映(録画)

7日(木) 午後6時
11日(月) 午後6時
26日(火) 午後6時※

※会議を開催した場合のみ放映

平成29年12月定例会分より、放送チャンネルが地上デジタル11チャンネルに変更となります。

- 開始時刻はいずれも午前10時からです。
- 請願・陳情の提出締切りは、11月22日(水)です。

【発行者】安城市議会 【編集者】市議会だより編集委員会 【問い合わせ】安城市議会事務局
〒446-8501 安城市桜町18-23 / Tel.0566-71-2252 / Fax.0566-77-8200
Eメール: giji@city.anjo.lg.jp